

平成 21 年 8 月 19 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 レ ー サ ム
代 表 者 名 代表取締役社長 田 中 剛
JASDAQ コード 8890
問 合 せ 先 常務取締役 小 町 剛
電 話 03 (5157) 8881

子会社の異動（譲渡）に関するお知らせ

当社は、本日、当社の特定子会社である RD Legend ベータ特定目的会社（以下、「RDL ベータ社」という。）向け優先出資証券を全額譲渡することを決定し、同日これを実行いたしましたのでお知らせいたします。

なお、当社が保有する RDL ベータ社向け優先出資証券については、平成 20 年 8 月期末および平成 21 年 2 月第 2 四半期末における低価法による評価引下げにより、今回の譲渡価額までの評価引き下げは既に完了しており、本件の連結損益に与える影響については、平成 21 年 4 月 3 日付の「特別損失の計上、平成 21 年 8 月期第 2 四半期連結業績予想の修正及び平成 21 年 8 月期通期連結業績予想、並びに配当予想の修正に関するお知らせ」にて公表しております業績修正に既に織り込んでおります。

また本譲渡に伴い、RDL ベータ社は当社の連結子会社から除外されることになり、RDL ベータ社が外部より借り入れている 270 億円のノンリコース型の有利子負債が、当社の連結貸借対照表から除外されることから、連結ベースでは大幅に債務が圧縮されることとなります。なお、本件後においても、引き続き RDL ベータ社に対するアセットマネジメント業務は当社が継続して受託してまいります。

記

1. 異動（譲渡）の理由

当社は、平成 20 年 1 月 31 日付の「当社グループにおける販売用不動産の取得に関するお知らせ」にて公表のとおり、当社が RDL ベータ社に対し優先出資を行うことにより、オフィス開発用地を販売用不動産として取得いたしました。その 7 ヶ月後の平成 20 年 8 月の開発許可に続き、同年 9 月には建築確認を取得するなどプロジェクトとしては確実に進行させてまいりましたが、昨年秋からの世界的な市況悪化の影響等を鑑み、開発案件は潜在的価値の高い表参道プロジェクトへの絞り込みを行う一方で、5・6 月に新たに仕入れた物件の販売を、6・7 月で既に完了させる等、確実に業績の回復を牽引できる富裕層向けビジネスに対して、経営資源の集中を図ってまいり、今般の優先出資証券の譲渡を決定しております。

2. 異動する子会社（RDL ベータ社）の概要

(1) 商号	RD Legend ベータ特定目的会社	
(2) 本店所在地	東京都中央区八重洲一丁目4番22号	
(3) 代表者の役職・氏名	取締役 田中 稔	
(4) 主な事業の内容	資産の流動化に関する法律に基づく資産流動化計画に従った特定資産の譲受並びにその管理及び処分にかかる業務	
(5) 資本金の額	特定資本金：100,000 円 優先資本金：20,000,000,000 円	
(6) 設立年月日	平成 19 年 12 月 7 日	
(7) 株主	特定資本：有限責任中間法人 RD Legend ホールディングス 100% 優先資本：当社 100%	
(8) 当社との関係	資本関係	優先資本について、上記の通りです。
	人的関係	該当事項はありません。
	取引関係	当社が、RDL ベータ社より、アセットマネジメント業務を受託しております。
(9) 最近の事業年度における業績の動向		
	平成 20 年 4 月期	平成 21 年 4 月期
売上高	－ 百万円	－ 百万円
経常利益	▲ 232 百万円	▲ 9,058 百万円
当期純利益	▲ 232 百万円	▲ 9,059 百万円
負債総額	27,256 百万円	27,168 百万円
総資産	47,024 百万円	37,876 百万円

3. 異動（譲渡）の相手先の概要

本件の異動（譲渡）の相手先については、開示について同意を得られておりませんが、当該相手先と当社との関係においては、資本関係、人的関係、および取引関係のいずれにおいても該当事項はなく、当社との利害関係者ではございません。また、当社は当該相手先が反社会的勢力ではなく、且つ当社が知りうる限りにおいて、当該会社が反社会的勢力との関係がないことについても確認しております。

4. 異動前後の当社における優先出資の状況

異動前の当社の優先出資額：20,000,000,000 円（出資割合 100%）

譲渡された優先出資額：20,000,000,000 円

異動後の当社の優先出資額：0 円（出資割合 0%）

優先出資の譲渡価額：1 円

譲渡価額は、平成 21 年 2 月第 2 四半期末の低価法適用時の評価において、RDL ベータ社が保有するオフィス開発用地を、現状有姿の状態でも早期に資金化した場合の時価をもって、当社の RDL ベータ社向け優先出資を評価した価額であり、現時点における開発用地の価額としては適切であるとの判断にいたっております。

5. 今後の見通し

先述のとおり、本件については、当社グループの平成 21 年 8 月期の通期連結業績予想に織り込み済みであり、公表済みの業績予想に変更はございません。

以上